

令和8年度 桑名市海外留学支援奨学金の申請について

世界を視野に未来を創造できるグローバル人材を育成し、市の国際化を推進するため、留学を希望する学生の人たちを対象とした「桑名市海外留学支援奨学金」の申請受付を開始します。

申請期間 5/11(月)～6/12(金) 17:00厳守

申請方法 市ホームページから(右記QRコード)

審査結果 7月上旬通知予定

対象者 市内在住または桑名市出身で、中学生以上の学生(4/1時点において29歳以下の人)

支給内容 原則として、15日以上留学を実施する学生へ、各コース1回限り、下記の金額を支給します。

・中高生コース10万円/回(内容によっては15日未満の留学も対象)

・大学生等コース20万円/月(最大100万円)

市HP
申請・詳細



桑名市海外留学支援奨学金 令和7年度 留学体験者の声(中高生コース 加藤さん)

私は世界を実際に自分で見てみたいと思い、この制度を活用して、昨年の夏休みにシンガポールでの短期語学留学に挑みました。初めての留学でしたが、現地の人たちはとても優しく、大変楽しい時間を過ごせました。留学に行く前はホームシックやカルチャーショックなど不安に思う事があったけれど、留学を終えたあとは、達成感や喜びが待っていました。興味がある人は、留学という選択を考えてみてはいかがでしょうか。



語学学校での学習の様子

その他、詳細は市ホームページ(QRコード)をご確認ください。

問 ブランド推進課 ダイバーシティ国際推進係 ☎ 26-1512

ジュニア・サミット10周年記念シンポジウム開催

2016年に開催されたジュニア・サミットでは、世界の主要7カ国の学生28人が桑名市に集結し、若者の視点でさまざまな議論が行われました。あれから10年。これまでの歩みとその意義を振り返りながら、さらに一歩進んだ国際化・グローバル化を考えるシンポジウムを開催します。講演やパネルディスカッションを通して、未来の「選ばれるまち」「世界に向けて開かれたまち」を具体的に描きます。

日時 5/9(土) 13:30～15:30 **場所** くわなメディアライヴ1階多目的ホール **費用** 無料

申込 事前申込制(申し込みは下記QRコードから) ※ただし、当日参加も可

主なプログラム

① 基調講演

三重大学大学院 地域イノベーション学研究所 教授 西村訓弘氏

② パネルディスカッション

ファシリテーター: 西村訓弘氏

パネリスト: 桑名市長 伊藤徳宇、衆議院議員 鈴木英敬氏、

三菱UFJリサーチ&コンサルティング主任研究員 南田あゆみ氏、

2016年にジュニア・サミット 日本代表として当時参加した学生など



ジュニア・サミット10周年記念シンポジウムのチラシ

市HP
申込・詳細



その他、詳細は市ホームページ(QRコード)をご確認ください。

問 ブランド推進課 ダイバーシティ国際推進係 ☎ 26-1512

- 02 伸びゆくまち・桑名
第38弾 施設一体型小中一貫校「多度学園」開校!
- 04 キラリ★くわな人
- 05 令和8年度 桑名市海外留学支援奨学金の申請について
ジュニアサミット10周年記念シンポジウム
- 06 「実感」手元に現金5,000円お届けします
- 08 令和8年度 桑名市の予算
- 10 令和8年度 桑名水郷花火大会
- 11 ころとカラダを大切に 女性が自分らしく輝くまち
4月から市の組織・機構が変わりました
- 12 桑名市総合医療センター通信、くわな防災教室
- 13 耳より情報、みんなの掲示板
- 14 EVENT ALBUM(イベントアルバム)
- 15 くわな INFO
- 24 無料相談
- 25 デジタルファースト取りくみレポート
市長まちなか探索
- 26 私の推しショット

今月の表紙

市内初の施設一体型小中一貫校「多度学園」の写真です。4つの小学校と1つの中学校を再編して、令和8年4月に開校を迎えました。



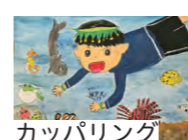
日常生活の課題を解決する独創的な発明品や絵画を募集する「桑名市創意くふう展」。同展から推薦された結果「第84回全日本小学生児童発明くふう展」で奨励賞を受賞した岩本さん、入選した齋藤さんと、「第48回未来の科学の夢絵画展」で奨励賞を受賞した米澤さん。岩本さんが発明したのは「素振ログ」。毎日剣道の素振りの練習をしていても上達した実感がわかかなかったため、竹刀を振る加速度を測って素振りの上手さを見る化する装置を考案。正しいデータを取るのに苦労したが、プログラミングなどを駆使し、加速度を数値で表すことにこだわったそう。「今後は人の役に立つことをしたい。将来は宇宙飛行士になりたい」と教えてくれました。



小学6年生 岩本 修司 さん(左)

小学2年生 齋藤 衣之介 さん(中央)

小学5年生 米澤 慶 さん(右)



齋藤さんが発明したのは「だいびんちボタン」。3歳で約198カ国の国旗を覚え、4歳で国際知識検定国旗1級に合格した齋藤さん。国旗検定の受験をきっかけに、世界には困っている人がたくさんいることを知り、いろいろな国の子どもがピンチの時に助けを求められる装置を考案。「将来は人がたくさん来られる大きな図書館を作って、いろいろな国の人に会いたい」と教えてくれました。米澤さんが描いたのは「すいすい泳ぐよカッパリング」。泳ぐのが苦手なため、カッパのように泳ぎの名人になれるカッパリングを考案。水難事故が減るように、離岸流など危険な場所では音と光で教えてくれる機能も考えたとのこと。普段から絵を描くことが好きで、大好きな生き物などの絵をよく描くそうです。「今年もコンクールに参加し、将来は生き物にかかわる仕事があったらいい」と教えてくれました。

キラリ★くわな人